

2018年度 特定非営利活動法人あだたら青い空 事業報告書

1. 理事会・事務局

特定非営利活動法人（NPO法人）あだたら青い空の設立の原点は「福島復興と子どもの自立支援」ですが、NPO法人認証2年目の2018年度も着実に取り組みを進めてきました。2018年度のNPO法人に助成金や補助金は、こども食堂やハイキングを中心に200万円を超えるなど財政的には前進しましたが、活動の核となる会員やボランティアの確保や育成がまだまだ不十分であり、次年度以降の中心的な課題だと考えられます。「やりたいことをもちより、みんなで考え、みんなで実行する」NPO法人をめざしていきたくと思います。

事務局体制は整っておらず、印刷や発送や会計処理などはすべて特定の個人が担当しています。NPO法人の組織体制の整備が急務となっています。

2. フリースクール青い空、不登校や引きこもりの保護者交流会

フリースクール青い空は不登校の子ども居場所や学習支援の場として設置されていますが、2018年度の利用率は平均すると毎月2～3名が週1～2回利用するという状況です。不登校とは本来「自分自身を取り戻すために必要なことであり、周りの理解が何よりも大事」です。福島県内では統計上小中学生約1800名が不登校となっていますが、そのほとんどの子どもは在宅です。不登校の子どもは、「自分が一番安心していられる場所」にいたいことが望ましいのであり、このことは2016年12月に成立した「教育機会確保法」にも謳われています。

フリースクールに対する公的な助成がない中で、それぞれのフリースクールは財政的には大変厳しい状況です。2018年度はフリースクール青い空に対して麒麟福祉財団より30万円の助成金をいただき、「教育と音楽のつどい」の開催、「不登校パンフ」や「教育機会確保法パンフ」の購入と学習、卒業旅行などを実施することができました。しかし、慢性的な財政難には変わりはなく、一刻も早い公的な助成の実現が必要となっています。

フリースクールの運営や毎月1回実施の「不登校と引きこもりの保護者交流会」(岳カフェ)は、財政的な困難はあるものの、「社会的なニーズ」がある限りは継続していきたくと思います。



食育



12/22 教育と音楽のつどい



たこ焼き作り（食育）

3. こども食堂ハラクッチー

こども食堂ハラクッチーは、「子どもの貧困対策」や「地域の子育て支援」「地域の居場所作り」として実施し、まる2年が経過しました。地域の子どもと大人と一緒に「調理し、食事し、片付けをし、遊ぶ」ことをコンセプトにし、毎月2回開催しています。

2018年度は、こども食堂に対する社会的な関心の高まりもあり、約100万円の助成金をいただき、財政的には健全化しています。しかし、こども食堂を実際に運営するボランティアスタッフの確保が安定しておらず、運営は不安定になっています。参加者の確保についても、二本松市役所のホームページに掲載してもらうなど社会的な認知度が高まっていますが、毎回参加者に声掛けをしなければ集まらない状況です。

私たちは、こども食堂ハラクッチーを単なる「交流促進の場」から「自主的主体的に集う場」として参加者が運営に主体的にかかわることを展望していますが、これからもそのための体制作りを重視して進めていきたくと思います。

■2018年度こども食堂ハラクッチー参加者数

4/7	20名	4/21	30名	5/12	19名	5/26	20名	6/9	23名	6/23	26名
7/7	27名	7/21	14名	8/18	14名	8/25	25名	9/8	21名	9/29	13名
10/20	22名	10/27	10名	11/10	25名	11/17	26名	12/8	38名	12/15	32名
1/19	10名	1/26	10名	2/2	18名	2/17	20名	3/2	26名	3/10	19名



家族連れでハラクッチー



12月は恒例の餅つき大会



そば打ちには市長も参加

4. 森のようちえん&がっこう

森のようちえん&がっこうは、小学生までを対象に毎月1回を基本に実施しています。子どもたちが森の中で自由に遊んだり、いろいろな動植物を見つけたり、畑での収穫や焼き芋作りなどを体験する中で、豊かな感性や想像力を育む取り組みです。夏は川遊び、冬は雪遊びなども行いました。2018年度は、参加者数が少ないことや天候不良などから5回の実施にとどまりました。

この事業に対しても関係する助成金を受けられなかったこともあり、参加者の確保が不安定でした。これからも助成金の獲得やボランティアスタッフの確保などを行い、またこども食堂とも連携して実施できる体制を作りたいと思います。

■2018年度の森のようちえん&がっこう 参加者数

4月	中止	5/13	7名	6/10	4名	7/21	こども食堂と合同	8月	中止	9月	中止
10/21	4名	11月	中止	12月	中止	1/13	6名	2月	中止	3月	中止



雪遊び



得意の木登り



サツマイモ収穫体験

5. 被災者支援リフレッシュ・ハイキングとウォーキング

東日本大震災から8年以上が経過していますが、福島県では故郷への帰還は進んでおらず、被災者の「心と体の不安」の解消がますます重要になっています。リフレッシュ・ハイキングとウォーキングは2012年5月から毎月1回実施し、ハイキングは今年5月で85回を数えました。

2018年度も被災者の皆様のご意見やご要望に応じて様々な取り組みを行いました。ハイキングに対する助成金や補助金も増えて、前年度の「赤い羽根募金」とともに今年は新たに福島県からの「心の復興補助金」を得ることができ、参加費の軽減や茶菓子などを支給することができました。ハイキングでは2泊3日の「十和田湖奥入瀬溪流と青森ねぶた祭りハイク」や「山形・山寺と銀山温泉ハイク」など多彩な企画を実施し、ウォーキングでは昼食会も定例で行い交流促進を行いました。また、ハイキングでは「心の復興」補助金を得たことからバスを多く利用することができました。

福島県では、被災者の皆さんの「健康増進や交流促進」「地域住民との交流促進による新たなコミュニティ作り」などがますます重要になっています。これからも被災者の皆様のご意見を取り入れて一層充実してハイキングとウォーキングを行うとともに、助成金や補助金の獲得、「被災者自らが自主的にハイキングを企画・運営し、新たなコミュニティ作りを進める」ことができる企画を検討したいと思います。

■2018年度 ハイキング 参加者数

4/22	三春町まちなかお花見ハイク	24名
5/27	大滝根山やまつつじハイク	19名
6/24	高清水公園ヒメサユリハイク	20名
7/8	小野川湖不動滝と檜原湖ハイク	17名
8/3~5	十和田湖奥入瀬渓流と青森ねぶた祭りハイク	22名
9/23	会津まつりと戊辰戦争ハイク	32名
10/13~14	山形・山寺と銀山温泉ハイク	21名
11/23	白河・天狗山ハイク	24名
12/9	ハイキング忘年会	21名
1/20	山形蔵王樹氷ハイク	21名
2/23	福島市四季の里いちご狩りハイク	26名
3/2	いわき勿来の関と河津桜ハイク	20名



6月の高清水ヒメサユリ



8月青森ねぶた祭りハイク



9月会津まつりハイク

■2018年度 ウォーキング 参加者数

4/14	霞ヶ城お花見ウォーク	13名
5/19	大玉村 大名倉山ウォーク	9名
6/16	大玉村 遠藤ヶ滝ウォーク	11名
7/14	あだたら溪谷ウォーク	12名
8/11	フォレストパークあだたら ウォーク	5名
9/15	安達ヶ原マンジュシャゲ ウォーク	13名
10/6	土湯きぼっこの森 ウォーク	5名
11/18	霞ヶ城紅葉ウォーク	9名
12/9	ハイキング忘年会と合流	21名
1/12	二本松市初詣ウォーク	11名
2/16	本宮・岩角寺と安達太良神社 ウォーク	11名
3/3	飯野町つるし雛祭り ウォーク	13名



5月大玉村大名倉山ウォーク



11月霞ヶ城紅葉ウォーク



3月飯野町つるし雛祭りウォーク

6. その他の事業、ニュースの発行など

「学習支援事業」については、子どもの居場所作りも兼ねて放課後学習支援を検討してきましたが、地域のニーズの掘り起こしやスタッフ体制、財源などの不備のため実施には至りませんでした。今後は、こども食堂でのつながりを生かしながら、地道に進めていきたいと思えます。

定期発行の①青い空ニュース②ハイキング案内③こども食堂ハラクチャー・ニュースは毎月発行でき、財政的にはほとんどこども食堂やハイキングなどの助成金を利用しました。しかし、内容面の改善やスタッフ体制の確立が課題となっています。

ホームページのアクセス数は毎日50～100件程度あり、多い時には200件を超える日もあります。引き続き、ホームページの内容の改善やフェイスブックなどのSNSを利用したホームページへのアクセス件数の増加を重視します。

市の広告誌などへの公告の掲載は財政的に厳しく実施できませんでしたが、二本松市と福島市で開催された音楽会のパンフレットへ広告を出しました。こども食堂ハラクチャーに関しては、二本松市役所のホームページに掲載させていただきました。

7. 2018年度の助成金・補助金の実績

助成金

こども食堂	赤い羽根	451700
	民友	200000
	ふくしま未来	200000
	アサヒ飲料	100000
フリースクール	キリン助成金	300000
ハイキング	赤い羽根	198000
計		1449700

補助金

ハイキング	心の復興	454000
	同	227000
計		681000

助成金と補助金の合計

2130700

未払い補助金

子どもゆめ基金	62055	
	心の復興	56100
計		118155

総合計 2248855